

古典 28 癲癇の少年

14 歳少年；3 年間癲癇発作。

最初の発作は、他の少年が彼に首を絞めるふりをした恐怖によって引き起こされた。

発作は、冷たく乾燥した天気が増える。

14 歳になってもまだ、頻繁に夜おねしょする。

少年はいつも寒いと訴える：夏でも冬でも温かくしていたがる。

彼は、とても同情的で、他人の苦しみにすぐに泣いてしまう。以前は、甘いものがとても好きであったが、甘いものは全て嫌悪する。